

News

No.145
2022/10/01

■サレジオ高専News
校長メッセージ
学生活動紹介

■育英学院同窓会報
コロナで3年目もダメか・・・
会長挨拶

PICKUP FROM SALESIO BLOG
コロナでDX（リモート）化推進
どのような学生を育てようか・・・
母校で後進の育成に

■父母会だより
2021年度 父母会活動紹介

SALESIO

サレジオ高専

サレジオ工業高等専門学校

194-0215 東京都町田市小山ヶ丘4-6-8

Tel. 042-775-3020 Fax. 042-775-3021

Loving Kindness
Human Technology
Living Truth

茶行人・・・校長・小島 知博
編集長・・・広瀬 星野 正 登
編 集・・・広瀬 青木 風 幸

学生たちの活躍を誇りに思います

平素よりサレジオ高専の教育活動にご理解とご協力いただき感謝いたします。

今年が高専制度創設60周年にあたっています。記念誌の発行、また11月には式典が執り行われる予定です。本校は1963年に高専として歩みはじめました。高専として59年の歴史があります。これまで時代のニーズに応えることのできる学生を正課授業、研究活動、産学官連携活動などを通して育成してきました。とりわけ産学官連携活動は学生の良い学びの場となっています。

現在、本校が取り組んでいるいくつかのプロジェクト活動を紹介します。一つ目は自動運転開発プロジェクトです。2020年度の自動運転カート開発をスタートさせ、一定の条件下において全ての運転をシステムが行える「自動運転レベル3」のEV完成を目指したプロジェクトです。電気工学科の井組研究室による技術開発と、企業と卒業生による単体制作ならびにデザインとが一体となってプロジェクトを進め、2022年4月に単体が完成しました。現在も井組研究室によって技術開発が進められています。

二つ目はデザイン学科の活動です。サンデン・リテールシステム(株)とのコーヒーマシンデザイン連携です。2020年度から毎年、5年生の応用デザイン実習Ⅱの授業では、サンデン・リテールシステム(株)へのコーヒーマシンのデザイン提案に取り組んでいます。当初はコンビエンスストア向けの筐体デザインのみでしたが、2021年度以降からは空間やシチュエーションにまで内容を広げ、「売れるコーヒーマシンの提案」というより発展的な内容にシフトチェンジしています。企業からの期待の大きさを感ずることが出来ます。

このように現在も産学官連携を通して学生が受ける知的、技術的な刺激は技術者教育には重要です。また学外の方々との連携ということもあり、緊張感をもってきちんと取り組むこともよい学習の機会となっています。しっかりと自分の技術力を高めることを意識して積極的に産学連携に取り組む学生たちをうれしく、また誇りに思います。これからもサレジオ高専の学生たちの成長をあたたかく見守り、支えてくださることを願います。

サレジオ工業高等専門学校
学校長 小島 知博

高専ロボコン2021 関東甲信越地区大会 特別賞 (東京エレクトロン株式会社)

2021年10月31日に開催された「高専ロボコン2021 関東甲信越地区大会」に本校のロボコンプロジェクトチームが出場しました。

本校のロボコンチームは「おつロボ製作委員会」というおつかいができるロボットを造り上げ、特別賞 (東京エレクトロン株式会社) を受賞しました。

テーマ 超絶機巧 (すごロボ)

ロボット名 おつロボ製作委員会

チーム サレジオ工業高等専門学校Aチーム



電気工学科 井組研究室 自動運転EV 研究開発プロジェクト

電気工学科では、2020年度から「自動運転レベル3を目指した自動運転EV」の研究開発プロジェクトをスタートしています。

基礎研究から始まり、シャーシの開発や卒業生や企業と連携したデザイン制作などを経て、ついに2022年度には車体の開発まで進めることができました。

本校の公式YouTubeチャンネルでは、開発の様子をMovieにして公開しています。ぜひご覧ください。



第15回高専パワーエレフォーラム 優秀発表賞

2022年3月20日、新潟県長岡市の「まちなかキャンパス長岡」で行われた「第15回高専パワーエレフォーラム」で米盛研究室の学生が発表し、専攻科2年生の 中川 湧貴さん (指導教員：米盛 弘信 准教授) が電気学会東京支部新潟支所より優秀発表賞を授与されました。

受賞論文 独立型交流電池による電源システムの提案

受賞者 中川 湧貴 (専攻科 2年)

米盛 弘信 (機械電子工学科/専攻科 准教授)





特集 高専から大学・大学院を経て教員に...

高専卒生の人生もイロイロになってきました。来春は高専56期生を迎えます。今回は高専から大学・大学院を経て大学や高専の教員になった皆さんの中から3人の方に寄稿をお願いしました。これらの方以外にも札幌医科大学など何人かいるようです。今回は3年ぶりに住所確認の全会員に発送しますが来年以降は**会費既納会員限定**になりますので、今回は非納付をお願いします。（事務局）

コロナで3年目もダメか...

現在学校で検討中ですが**結論は10月になるよう
BLOG、MLで育英祭と
卒生の集い（SHCD）情報を流します！**

2022年9月17日に同窓会執行役員会を開催、学校の方針決定後にそれを受けて卒生の集い開催可否の情報を**ML、BLOG**で情報提供することにいたします。

昨年同様条件付きで公開はするものの飲食はしないということになれば食べて飲んで大声で話したいというのがSHCDの集いですから開催は困難です。

来々年2023年は平常の様態で開催できることを再び願います
がオミクロン型の次はパイカか永遠に続きそうです。

昨年2021年が定期総会年で、紙上で報告いたしました。会長は2期4年で満了でしたがこのような事態で引き続き会長職をお願いしております。

会長挨拶

育英学院同窓会長 河村 英和（高専1期）



卒業生の皆さん、コロナの下、いか
がお過ごしでしょうか。早3年が経
つとしております。
同窓会の本質である「集って話すこ
と」が止められてなんとも残念です。

右上に続く

左下の続き

育英工高卒の方はすべて後期高齢者ですのでどうぞお気を付けてください。高専初期もそれに続きます。もちろん若い世代も注意は必要でサレジオ高専でも常時数人から十数人の範囲で検査あるいは陽性対応という報告が入っています。

それでも執行役員会をリモートで行ったり、鈴木（阿久津）副会長の東デモメール支援に協力したりと頑張っております。

高専もコロナ下、授業は対面に復帰していますがリモートも利用するハイブリッドになったりしています。しかし野尻キャンパス、校内体育大会、育英祭、キャリアデーなど学生行事はやはり被害を受けています。今年卒業した55期生は卒業アルバムの写真がないなど苦労していました。卒業式・謝恩会の招待もなくなっています。

今春キャリアデーもハイブリッド型で運営されましたが協力頂いた卒業生講師の皆さんに感謝申し上げます。リモートで行うにはもう一つ工夫がいるかなと思います。

上部団体のサレジオ同窓連合もリモートでEAO大会に参加したようですが、これもWebベースでの報告になりました。

今後ますますWebやMLなどインターネットを活用した同窓会活動に移行していくかもしれません私の世代としてはさびしい限りです。

どうか改めてご家族を含めてご自愛のほどお祈りいたします。不明のことあれば事務局（kido.yoshihito@gmail.com）あておたずねください。

今年高専創設60周年になります。それに合わせて国公立の卒業生の活躍をまとめて冊子にする企画が進行中です。サレジオ高専からも育英高専時代の卒業生から4名の方に寄稿を頂きました。野原節雄さん(S01EP)、佐藤敏明さん(S14ID)、鎌田光宣さん(S30CS)、米盛弘信さん(S36EC)です。その中で鎌田さんと米盛さんは別掲の記事になっていきますのでここでは野原さんと佐藤さんの寄稿を掲載します。

デザイナーを志して46年

佐藤 敏明
江崎グロコ株式会社デザイン部部长
育英（現サレジオ）高専 14期工業デザイン学科卒



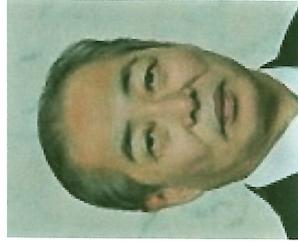
私が育英高専でデザインを学び始めて今年で46年。東芝、ソニー、NEC、そして現在の江崎グロコと半世紀近くデザイン業界に存在し続けてきたのは「デザイナーになりたい」という志が成就した結果といえるでしょう。入学後、他学科に機械・電気・情報・印刷といったデザインを取り囲むテック&サイエンスの専門領域が揃い、出会った教師・学生から多くの学びを得ました。校長がベルギー人、副校長がイタリア人、図学の教師がドイツ人と10代でグローバルな環境に置かれたのも、後の海外活動に大きく影響しました。

1977年に校外授業で見学した晴海国際見本市会場東館（ドーム館）の「カロツツエリア・イタリアーナ、77」では、ヌッチオ・ベルトーネ、セルジオ・ピニンファリーナ、エリオとジャソニー・ザガート兄弟、ミケロッティの内田盾男さんなど、カーデザイン界の巨匠と並んで集合写真を撮りました。数十年後に内田盾男さんやザガートを継いだ原田則彦さん、ジウジアーロのお嬢さんらウラとの交流に繋がるとは思いもせませんでした。私のカーデザイン好きを刺激したようです。私が多くの日本人の暮らしを飾った「ガラケー」をいちばん世に多く送り出したデザイナーとして名を馳せることができたのも、授業で身につけた体得した基本と奥技で「新しい社会潮流に向けて、デザインはどうかあるべきか」という問題に取り組む「ハウハウスの理念」のおかげです。人生の折り返し地点を過ぎたこれからは、次の時代を切り開く若手たちと力を合わせ、より社会に役立つデザインのあり方を目指して歩んでまいります。

育英高専での学びは、問題の本質を深く掘り下げて、問題を解決するための考察と設計（design）を行い、志（vision）に基づいた体験（experience）を想像・創造し続けることでした。今後も、一人ひとりを豊かな人生（well-being）に導くことを目的に、未来社会への夢や希望に向けて歩み出す「デザイナーのチカラ」を活用し、社会と人々の生きがいを求め続けたいまいります。

人生50年からの挑戦

野原 節雄
IMTエンジニアリング株式会社 技術研究所所長
育英（現サレジオ）高専 1期電気工学科卒



私が陸上でのエビ養殖の事業を手がけたのは高専を卒業して長く在職した建設関係の会社で50歳になったときでした。このバナメイエビ陸上養殖を私の仲間や支援していただいた恩人とともに研究、試験操業に従事して25年近く経ちました。この間新潟県の高専で「砂高ゆきエビ」として商品化し、一流ホテルにも納品されたりしました。今回は大手電力会社がフアウテナダとして参加し、始められた大型の商業生産にたどり着いたということです。その内容がこの度テレビ静岡で放映されました。日本でエビの大型陸上養殖施設が静岡県磐田市に完成し、規模は陸上養殖施設として国内最大級の生産を見込んでおり、この施設から関西電力などと設立した合同会社がバナメイエビの生産、加工販売を行います。

施設には6つの養殖用プールが整備され、人工の海草と波が自然に近い環境を再現し、また一度くみ上げた水は循環、濾過して再利用、水温や水質を管理して安定生産を図ります。



← 工場全景



エビ養殖水槽→

合同会社（海幸ゆきのや）の秋田社長からも今までエビはほとんど輸入に頼っている現状なので、期待が大きいです。我々はこれまでの研究成果からモンゴルの内陸など水産資源を入手しにくい地域でもエビの養殖が可能になっています。今年2022年7月にプールにエビを入れ10月から出荷予定で、年間約80tの生産を見込んでいます。プラントには縦40m・横12mのプールが6レーン設置され、天竜川や遠州灘の地下水、地下水を再利用するのにも特長です。

こんな私を育てくれた学校が育英（現サレジオ）高専です。高専1期といえは入学倍率は20倍、ベビーブームの先頭世代としてユニークな人材を多く輩出した母校に感謝する次第です。高専時代は、電気工学科に所属していましたが、ほぼすべて、クラスハンド部の活動に費やしていました。その活動の中でビッグバンド結成や、ジャズクインテット、エレキバンドなど多様なジャンルの音楽に接していました。そのエネルギーが、新しいことへのチャレンジにつながっていると実感しています。

2022年08月13日

報告：被災した東ティモールから復興の報告

青年学院同窓会鈴木 (向久達) ちひろさんからの報告です。昨年東ティモールのディレイ周辺を襲った大雨で川が氾濫、多くの市民がサレジオの施設に避難しました。その際に青年学院同窓会、サレジオ同窓会連合、ちひろさんの友人など多数の方からご寄付をいただいた被災地支援金として送金しました。今回現地から報告があり、その支援金により4軒の家が建てられ被災家族が入居したそうです。7月22日に東ティモールのマリオ神父がシェアしてくれました。本日は早く説明を入れて、去年東ティモールの水害で応援してくれた方たちにお伝えするべきでしたが、バタバタとして今になってしまいました。寄付金の内訳は大きく分けて上記の3つのグループでしたので、新しい家に3つのペナントフラッグが飾られました。緊急支援してくれた友人のYOSHIKIくんはJapanじゃありませんが…私の友人の一人です。

青年学院同窓会、日本サレジオ連合、私を応援してくれた方々、皆様からの支援金が四軒の家になりました。メッセージはtetun語でしたので誤訳があるかもしれませんが

[Uma maruk Timor.] (茨蓮の家)
私達はUMTと呼びます
2022年7月18日UMTがApollonio神父とJoao Roque神父によって祝賀されました。
悲しみの涙は喜びの涙となった。2021年4月の水害によって、たくさんの方の生活が困難になりました。

Joao da Costaさん、Benedita de Jesus さん、Doming さん、Moniz さん
彼ら四人の境遇は似て、家が失くさり、貧乏も、田畑も、木々も失った。
今日の午後、四人は言葉だけ新しい家を手に入れることができ、とても喜んでいきます。



これらの寄付金は海外にいるティモールの家族達、宗教に関係なく日本から当初に送られた寄付金によって送られました。

以下に現地からのテトウン語のメッセージとFB動画のURLを添付しました！
https://m.facebook.com/story.php?story_fbid=pfbid099oLSupGuxDYCh8JAqFWie5LX1DK6yhmND7WduosPbnmGvifRq0b67LmbTmsKk

2022年08月21日

報告：東ティモールフェスタへ参加

去る2022年5月21日(土曜日)東ティモールフェスタが上智大学風景に合わせた同大陣内で開催されました。当青年学院同窓会執行部としても水遣支援の場から応援し、朝早く出席しました。ちようど例年様ではありましたが、多勢の応援団体、同国の大使館、JICAなどの後援もあって多くの関係団体、参加者が参集していました。内容はチラシをご覧ください。出店ブースは同窓会副会長の鈴木ちひろさんの手作り手芸品、アグセサリーや同国の特産品であるコーヒーなどを販売、東TVのクルーが撮影にも来ていました。執行部からも川島副会長、奥山副会長が参加しました。画像スタンプには同国大使館の書記官(既知)も訪れていました。



大使館書記官来訪



奥山副会長来訪、川島さんと鈴木さんはスタッフ (鈴木さん

2022年04月16日

訃報：伊藤清宮さん (SOIEP)が逝去されました

高専1期生電気工学科卒の伊藤清宮さん (享年74歳) が去る2022/2/2逝去されました。ご葬儀は斎場祥徳で執り行われました。特にご病気で療養中というところではなく数日前に公費のベンチで休まれている際にご心不全に陥ったこととです。彼は卒業後アンリツ電機に勤務、営業部長として活躍されました。喪主の奥様から「皆様もお母様だけは御目薬ください」との言付けがありました。(同朋の河村同窓会会長から) かに2011年春葬会での緊急手術を理髪します。〇で囲った方が伊藤さん



最近では葬儀で故人の顔紙書が残まる機会もないので同窓会として葬儀の訃報告知をいたしますので、ご友人のごことでご希望の方は情報提供を頂ければ幸いです。(事務局)

2022年07月25日

訃報：民権幸男神父(2022年7月24日)

(自叙) トミニコ・サヴィオ長寿聖男神父 晴天 私たちの比叡会員 司祭 トミニコ・サヴィオ 長寿聖男 (おがさわ ゆきお 享年81歳 普賢62年) は、去る7月24日(日)16時47分、聖フランシスコ病院 (集積市) にて、闘病経年のため、腎臓のもとに召されました。

生前のご事案に深く感謝申し上げますとともに、長寿神父の永遠の安息を祈りつつ、謹んでお知らせいたします。(以下同窓会事務局構想) 師は1971年から1987年まで育英高等 (現サレジオ高専) において高等の宗教担当、倫理哲学担当、後進に学生指導等を歴任、学生の世話にあたった。当時の教職員とも深く交流の機会を持った。先の本校卒業生の西村宗樹が訃報が読まれたときにカトリック豊原教会の主任司祭として共式された。



なお遺族、葬儀マサ・告別所は長崎で斎場葬で執り行われる。 <https://salesio.jp/news/17863>

2022年04月14日

告知：ウクライナそしてロシアにも祈ろう

友々からの情報提供です
水戸能実
14:20 (1分前)To 自分

SYNJapan主催

🇺🇦ウクライナとロシアのための祈りの会🇷🇺

来たる4/15 (金) 21:00~、ウクライナとロシア🇺🇦🇷🇺の為に祈りの会をします🇺🇦🇷🇺。ロシアとウクライナの戦争により、多くの方の命が奪われ、さまざまな苦しみを抱えていると想像し、私たちができることは多くありませんが、共に祈ることができると思っています。この際、ぜひ、心を合わせて祈りませんか?? 配信される動画と共に祈っていただけたら幸いです。🙏🙏🙏ご協力お願いします。

日時:4月15日 (金) 聖金曜日 21:00~21:20参加方法:YouTubeのURL

<https://youtu.be/CSQMHV0d78>

をクリックしてご覧ください。動画はアーカイブとして残りますので、後からでも視聴可能です。



2022年04月16日

告知：東ティモールフェスタ2022/5/21

去る2022年5/21上智大学で「東ティモールフェスタ」が開催されました。当同窓会理事の鈴木 (旧経阿久津) ちひろさんから情報提供がありましたので下記の記事を転載します。当同窓会執行部もメンバーとしており、鈴木理事のボランティアVIVATIMブランドの小物販売を企画しております。

5月21日 上智大学にて東ティモールフェスタがあります!
Timor Lesteさんがカハ〜写真を変更しました。
※11:37

今年は「青年学院同窓会執行部」として VIVATIM handcraft(多項します🙌)

東ティモールについて知りたい人、少しでも興味のある人は是非遊びに来て下さい🙌

フェアサイト

<https://timor-leste-fes.com/>

Youtube

<https://youtu.be/CSQMHV0d78>



2021年12月06日

報告：デザコン2021入賞

今年のデザインコンテストの結果の内報報告がありました（念上秋世先生から） 12月5日(日) 8:34 (1日前)いつもお世話になっております。谷上@デザコン担当です。スタッフメメで失礼致します。昨日、広島の呉で開催された「第18回全国高専デザコン2021」において下記のとおり受賞いたしましたので報告いたします。

●ブレデザコン部門
創造デザコンワールド【優秀賞(連合会会員賞)】

- 作品名 The Bird Soars Anake
- 3AD 安西 豊緒
- 3AD 下沼邊 千星
- 3AD 具仁 恵
- 3AD 多和田 鳳慶

●ブレデザコン部門
創造デザコンワールド【特別賞】

- 作品名 有り明けの聲を泳げ、未来へ。
- 3AD 遠藤 葉月
- 3AD 上原 典輝
- 3AD 太田 亜衣

全4作品を提出し、2作品が受賞しました。残念ながら最優秀賞は返してしまいました。コロナ禍で感傷のように活動ができない中で学生たちはよく頑張ったと思います。今回受賞に至らなかつた1年生、2年生も先輩のアドバイスを受けながら作品を完成させました。今後の成長がともなうと楽しみにしております。作品につきましてはおフィードバック/YouTubeをご覧ください。

<https://www.youtube.com/watch?v=EQd3lh--0ZI>

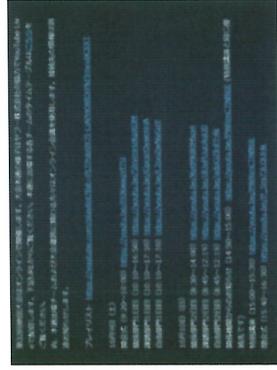
今回参加した学生に響いた声をかけていただけたら幸いです。デザコン出場に際し多くの皆様にお力添えをいただきました。深く感謝申し上げます。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

2021年10月09日

告知：全国高専プロコンYoutube中継(2021/10/10)

昨日10/9から本日10/10の2日間秋田萬寿からYoutubeによるリモート方式大会の中継が行われました。本サレゾ高専情報工学科も競技部門に出場、10/9の時点で予選を突破し、準決勝に進出したところまでは報告が入っています。その後どうなるか下記のサイトをご覧ください

<https://www.procon.gr.jp/>



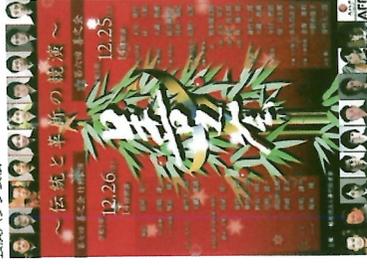
同窓会でも冊子配布による広報活動インターネットの活用が必要になります。しかし文書による通知も必要ですので年会費納付のご支援も引き続きよろしくお願いいたします。今回3年ぶりに住所の判明している全会員7409名宛発送になりましたが次回からは再び会費既納会員限定発送になる予定です。

2021年12月11日

告知：野島伸仁先生の狂言公演

本校一級教育英語科の野島先生から久々に狂言公演のお知らせが入りました。コロナの影響下、文化公演の目録もあつてご苦労が多かつたようですが、観下の状態から状況で公演が写真されているようです。ご興味のある方は是非お問い合わせください(同窓会事務局kido.yoshihito@gmail.com)

公演パンフ表紙



公演演目

1. 伝説と革新の鏡演	2. 伝説と革新の鏡演
3. 伝説と革新の鏡演	4. 伝説と革新の鏡演
5. 伝説と革新の鏡演	6. 伝説と革新の鏡演
7. 伝説と革新の鏡演	8. 伝説と革新の鏡演
9. 伝説と革新の鏡演	10. 伝説と革新の鏡演
11. 伝説と革新の鏡演	12. 伝説と革新の鏡演
13. 伝説と革新の鏡演	14. 伝説と革新の鏡演
15. 伝説と革新の鏡演	16. 伝説と革新の鏡演
17. 伝説と革新の鏡演	18. 伝説と革新の鏡演
19. 伝説と革新の鏡演	20. 伝説と革新の鏡演
21. 伝説と革新の鏡演	22. 伝説と革新の鏡演
23. 伝説と革新の鏡演	24. 伝説と革新の鏡演
25. 伝説と革新の鏡演	26. 伝説と革新の鏡演
27. 伝説と革新の鏡演	28. 伝説と革新の鏡演
29. 伝説と革新の鏡演	30. 伝説と革新の鏡演
31. 伝説と革新の鏡演	32. 伝説と革新の鏡演
33. 伝説と革新の鏡演	34. 伝説と革新の鏡演
35. 伝説と革新の鏡演	36. 伝説と革新の鏡演
37. 伝説と革新の鏡演	38. 伝説と革新の鏡演
39. 伝説と革新の鏡演	40. 伝説と革新の鏡演
41. 伝説と革新の鏡演	42. 伝説と革新の鏡演
43. 伝説と革新の鏡演	44. 伝説と革新の鏡演
45. 伝説と革新の鏡演	46. 伝説と革新の鏡演
47. 伝説と革新の鏡演	48. 伝説と革新の鏡演
49. 伝説と革新の鏡演	50. 伝説と革新の鏡演
51. 伝説と革新の鏡演	52. 伝説と革新の鏡演
53. 伝説と革新の鏡演	54. 伝説と革新の鏡演
55. 伝説と革新の鏡演	56. 伝説と革新の鏡演
57. 伝説と革新の鏡演	58. 伝説と革新の鏡演
59. 伝説と革新の鏡演	60. 伝説と革新の鏡演
61. 伝説と革新の鏡演	62. 伝説と革新の鏡演
63. 伝説と革新の鏡演	64. 伝説と革新の鏡演
65. 伝説と革新の鏡演	66. 伝説と革新の鏡演
67. 伝説と革新の鏡演	68. 伝説と革新の鏡演
69. 伝説と革新の鏡演	70. 伝説と革新の鏡演
71. 伝説と革新の鏡演	72. 伝説と革新の鏡演
73. 伝説と革新の鏡演	74. 伝説と革新の鏡演
75. 伝説と革新の鏡演	76. 伝説と革新の鏡演
77. 伝説と革新の鏡演	78. 伝説と革新の鏡演
79. 伝説と革新の鏡演	80. 伝説と革新の鏡演
81. 伝説と革新の鏡演	82. 伝説と革新の鏡演
83. 伝説と革新の鏡演	84. 伝説と革新の鏡演
85. 伝説と革新の鏡演	86. 伝説と革新の鏡演
87. 伝説と革新の鏡演	88. 伝説と革新の鏡演
89. 伝説と革新の鏡演	90. 伝説と革新の鏡演
91. 伝説と革新の鏡演	92. 伝説と革新の鏡演
93. 伝説と革新の鏡演	94. 伝説と革新の鏡演
95. 伝説と革新の鏡演	96. 伝説と革新の鏡演
97. 伝説と革新の鏡演	98. 伝説と革新の鏡演
99. 伝説と革新の鏡演	100. 伝説と革新の鏡演

2021年11月04日

卒業生：高専7期電気「海釣り」グループ

高専7期電気工学科の仲間と長島さんを中心としたLINE GROUPがあります。そのメンバーの中で海釣り好きな仲間が集まって伊豆七島・八丈島周辺で釣魚を楽しんでいます。今回大漁の報告が入りましたので皆さんにお知らせします。メンバーは西村敬博さん、野田恵さん、クラブ先輩つなかりで1期の河村英和さんです。



2021年09月06日

WEM2021

← 投稿
おはよう御座います。台風16号で延期した。八丈島周辺に14日15日、16日、17日、18日と釣りに行きます。サカナダイ、アサダイ、メダカ、ヒメダイ、メダカ、ハナヒメ、アカ

0 いいね! 0 ツイート 0 ブックマーク

【Hokokuの最新記事】

- ▶ 報告：東ティモールフェスタへ参加
- ▶ 報告：サイテックのアクラはどうかだった...
- ▶ 報告：同窓会事務局からの報告
- ▶ 報告：デザコン2021入賞
- ▶ 連絡：父母会レクハリーからオファーのある。

posted by いくえい@ at 13:49 | Comment(0) | Hokoku

コロナでDX（リモート）化推進

小宮 常康

電気通信大学 大学院情報理工学研究所 准教授
（情報・ネットワーク工学）

育英（現サレジオ）高専22期電気工学科卒



中学生の頃、電子工作が趣味で回路を自分で設計できるようになりました。育英高専電気工学科に入りました。いや、自分の趣味の領域の学校なら頑張れそうなので高専に入って将来は電子工学系のエンジニアを目指そう、だったかもしれない。とにかく、高専が自分にとって理想的なところにあるので

です。実際入学してみると期待通りで（実験レポートは大変でしたけども）、俄然やる気が出て授業を真面目に受けることができるようになりました。育英高専に入學してしばらくすると、父親が念願のパソコンを買ってくれました。それからは電子工作の趣味はお休みして、もっぱらパソコンにのめり込むようになりました。もともとは電子回路できているのにプログラムによって色々なものに化けるコンピュータになんとも言えない魅力を感じていましたので、コンピュータそのものやプログラミングの行為そのものが好きでした。

高専5年次には木戸先生の研究室（当時第5研究室情報系）に入りました。研究テーマは、教育用途でよく使用されていたPascalというプログラミング言語で書かれたプログラムの実行を追えるツールの開発です。簡単に言うと、「Pascalプログラム」を解釈して実行するプログラムの作成です。このプログラム開発は本当に充実していて楽しい体験でした。今の仕事の原点はここにあります。

その後の進路は、豊橋技術科大情報工学課程3年次への編入です。大学への編入を考えるとになったのは、コンピュータが趣味になって「コンピュータサイエンス」と呼ばれる専門分野のことを知ったからです（独立した立派な学問領域だと思います）。編入当初は、全国の高専から集まる学生は優秀ですし、授業の進みも速いので、ちゃんといっているのか正直不安もありました。しかし研究室に入ってから、高専生が身につける「手を動かす／試行錯誤する」スキルがとても大きな武器になり、何の問題もなく張り合えることが分かりました（そういうスキルの優劣はどの高専でも変わりありませんから）。もちろんすぐ優秀な人という刺激もあります。

大学での研究室は、プログラミング言語や言語処理系（コンパイラやインタプリタなど）の研究を行っているところを選び、覚悟を決めて大学院博士課程まで進みました。実は育英高専時代の卒研で作ったものは言語処理系そのものでしたからその続きを究めようと思ったわけですね。この分野は現在の私の専門分野でもあります。そのときの研究では、言語機能を提案したり、言語処理系の中の機構の効率化の方法を考えたりして、それ

右上に続く

らを研究室で開発中の言語処理系に実装することをやっていました。それは謂わば提案機能の試験台です。その試験台である言語処理系がしっかりしていないと色々不具合がありますので、研究テーマの仕事とは別にその処理系の完成度を高めるべく、ソースコードを隔々まで読んでデバッグ・改良・機能追加を在中ずっと継続して行っていました（これも好きだからです）。あるバグは原因特定に1年がかりだったこともあります。この経験がとても役に立ちました。処理系の実装に精通することにもなりませんが、完成度の高い実装をしないと本当のことが見えてこないこともよくあるからです。

博士課程修了後は、自分の好む研究ができる「どこか」に就きたいと願いますが、そういう職場は意外とありません。運良く、私の就職活動とボスの他大学への異動の時期が重なり、その異動先の助手として採用してもらうことができました（その後、大学を2回移って現在は電気通信大学に勤めています）。大専学教員は教育研究職ですので、教育や学生の指導も担っています。その点については、まあ研究室の後輩の面倒はよく見ていたから大丈夫だろう、くらいの気持ちでした。学生指導の大変さを真に味わうのは自分の研究室を持つようになってからです。研究を進めようと思うあまり、つい一方的に教えてしまいがちな頃がありました（単に知識を伝えるように教えるのはまだ簡単ですが）。しかしそうしてしまうと研究室で学ぶ価値が半減します。それで、なるべく学生の口から疑問が出るまで待つようにしています。が、学生の能力を引き出すように導くのは難しい。できることはそのちよっとなお手伝い程度だと思っています。

ところで、コロナ禍になって働く環境や学ぶ環境はだいぶ変わりました。ある先生が、コロナ禍になってリモートワークやオンライン授業など、10年掛かりそうなことが1年でできてしまった、夢は捨てるものではない、とおっしゃっていました。本当にその通りだと思います。これから社会へ出る学生さんには、新環境がリモートワークの場合やはり不利益もありそう得心配ですが、大小様々なチャンスが転がっているはずと考えるとぜひとも積極的に活躍していただきたいと願っています。

どのような学生をそだてようか…

鎌田 光宣

学校法人千葉学園 千葉商科大学 人間社会学部
教授 学部長

育英（現サレジオ）高専30期情報工学科卒



育英高専（現サレジオ高専）を1997年3月に卒業、豊橋技術科大学に編入学して大学院博士後期課程を修了し、学校法人千葉学園千葉商科大学で教員となり18年目となります。はじめは高専時代に情報分野担当の専任講師として採用されました。その後、サービス創造学部の立ち上げと同時に学部を

次ページに続く

移り、さらに人間社会学部の立ち上げと同時に再度学部を異動、現在は同学部の教授・学部長を務めております。

中学生のときに育英高専を選んだきっかけは、教室にあったパソコンを見て「普通の高校と違ってパソコンの勉強ができる」と思ったことでした。当時はまだパソコンがそれほど普及しておらず、学校でITの勉強ができるのはとても魅力的でした…。が入学してから想定外だったのは普通の高校の科目もあったのです。低学年ではコンピューターに触れる機会が思ったよりも少なく、次第に実験レポートにも追われるようになり、2年生の途中で体調を崩してしばらく登校できなくなりました。それでも、優しい先生方や友人達に支えられ、なんとか復帰することができました。当時の友人達とは今も親しくしています。また、相性が悪く喧嘩したクラスメイトもいましたが、20年ぶりに同窓会で会ったお互いに「いいおっさん」になっていて、すぐに打ち解けることができました。

3年生以降になると興味のある授業が増えてきて、第二種基幹情報処理技術者に合格するなどして自信もつき、成績がグングン上がっていききました。そして、5年生のときに一度だけ就職活動を経験しました。育英高専の卒業生が在籍するIT系の企業で、自分の能力を発揮して働けそうなところでした。その企業に見学に行った際、卒業生の方から「今の時代、大学に行けるなら行っておいの方が良いよ。」というアドバイスを頂きまして、豊橋技術科学大学（以下技大）への進学を決めた次第です。

大学・大学院でもたくさんの躓きがありました。何より、他の人よりも高いと思っていたITスキルが、技大では普通だったのです。そして、今までにないくらい毎日必死に勉強してもついていけなかった。友達、友人の中には、教科書を一度読めば頭に入るといって羨ましい人がいたり、私の努力など生ぬるいと思えるほど猛烈に努力する人がいたり、とにかく自分の力不足を痛感させられました。育英高専で身につけたITスキルやレポート作成技術のおかげで何とかついていくことができましたが、育英時代にドイツ語を履修して、英語や数学をしっかりとマスターしておけば、もっと余裕のある大学生生活を送れたのではないかと思っています。

そもそも、人前で話すことが得意ではなく、アピールも苦手、学力も人並みな私になぜ大学教員になったのかというと、それしか道がなかったから、、、です。技大では、大学院修士課程を終えて就職をする人がほとんどなのですが、まれに博士後期課程に進む人がいて、私もその一人です。世界一の研究者を目指そう、という崇高な目標があったわけではなく、指導教官に誘われるがまま進学しました。人柄だけは良く、研究室の雑用をこなしながらまじめに研究にも取り組む、そんな私を気に入ったのかも知れません。博士後期課程では、学術誌に英語論文が掲載されるなどの成果を出さなければ学位が取れずに単位取得退学となってしまいます。さらに、就職活動をしようとしても27歳で社会人経験なしという、あまりに不利な状況です。将来への不安がストレスとなり、胃潰瘍になったこともありました。博士（工学）の学位を取り、大学で専任の職を得られたのは、努力したのと同等に、いくつかの幸運が重なったおかげだと考えています。

千葉商科大学に就職してからの経歴は冒頭に述べた通りで

右上に続く

す。複数の学部でいろいろな科目やゼミを担当してきました。高専生と比べると、高いITスキルを持った学生は多くありませんが、私の所属する人間社会学部では、高齢者福祉や障がい者福祉などの社会福祉に興味を持ち、地域の活動に積極的に参加している学生がたくさんいます。学生たちは、やる気があれば自分で学び、成長していきます。私たち教員は学生と積極的にコミュニケーションを取り、やる気を出すサポートをするのが仕事だと思っています。

グローバル化が進む現在の世の中では、共通のコミュニケーションツールとしての英語能力は必須と言えるでしょう。それと同時に、世界各地、それぞれ地域の地域で自然や文化を大切にしながら、持続可能な社会を作ることも求められています。地域から、持続可能な社会を作り、抱えている問題があれば一緒に解決しようとする努力をください。人種や性別、障がいの有無などによる差別がない公平公正な世の中を実現するために、サレジオ高専のみなさんの力が必要とされています。



千葉商科大学キャンパス

母校で後進の育成に

米盛 弘信

サレジオ高専 機械電子工学科 准教授

育英（現サレジオ）高専36期電子工学科卒



1. 高専での思い出

やっぱり、昼夜問わず課外活動に没頭していたことですね！依田先生率いる放送部に所属して、放送配線や機器の修理を自分たちで行いました。音が届かない場所があると秋葉原で中古のトランペットスピーカーを買ってきて、ハシゴに登って配線をします。コンソールの調子が悪いとき

もオシロスコープを使って故障箇所を探して部品を交換します。当時の育英高専は、かなり自由でしたので、何でも自分たちで直したり作ったりしていました。食堂に大型TVを設置した際は、TVの上に電光掲示板が欲しくなり、依田先生に回路を教わりながら数千箇所のはんだ付けをしました。「無いものは作る！」の精神ですね。

次ページに続く

これはよく云われる高専卒生の特徴で「理屈の前」にやってみる」に通じます。

2. 進学への道（大学・大学院での経験）

高専時代の活動の中で、作りたいと思う回路を具現化するのには数多くの知識と経験が必要なることを実感し、また不安定な世の中を生き抜くには、もっと技術を身に着けた方が良いのではと、思い、大学編入を決めました。編入先は、音響系の研究室がある国立電気通信大学電子工学科を選びました。

3年次編入してからは、電子工事ができる選択科目があったので、工作好きに私は一石二鳥と思い、「電子工学工房」という場所で電子工作に取り組んでいました。「エレクトロニクスコンテスト」という学内イベントでは、SVBL所長賞（総合1位）を受賞し、人生初の特許出願することになりました。卒業研究は、音響系の鎌倉研究室へ入ることができ、超音波を利用したパラメトリックスピーカを動かすための変調回路を設計・製作して、特性を測定しました。結果的に卒研優秀賞を受賞することができました。

大学卒業後は、工学院大学大学院へ進学しました。高専・大学共にモノづくりでは回路を中心に製作していましたが、大学院ではパワーエレクトロニクス系の小林研究室を選択しました。研究テーマは、当時のトレンドだったオールメタル（アルミ鍋・銅鍋）加熱対応IH調理器の開発になりました。複数の学会誌を手にとって、参考になりそうな文献をとにかく探す中、1つのアイデアに辿り着きました。そして、高専時代と同様、研究室に転がっていた材料を使ってアイデアを具現化してブレ実験したところ、狙い通りの結果が得られたので、教授に報告したところ、大学院でも特許出願することになりました。その後、国内外の学会で数多くの発表を経験し、学会等において優秀賞等を複数受賞することができました。総じて、高専時代の実験・レポート・発表の3点セットや「無いものは作る」のモノづくり精神は全て活かされたと感じています。

3. 「教員への道」へのきっかけ（どうして教員の道に）

大学3年次の1月末に高専の先生から「4月から非常勤講師をしてくれない？」とお声掛けをもらったのが最初のきっかけです。「え？僕が先生？」と思いましたが、「せっかくの機会だし、やってみるか〜」と引き受けました。また、依田先生にお誘いいただき、ワールド・エコノミーの引率やNHK高専ロボコンの指導教員も担当しました。実際に非常勤講師として高専の授業や実験、課外活動などを担当する中で、地元の児童館でリーダー活動をしていた経験も活かせるので、このまま教員になるのも良いかなあと、大学院へ通う社会人学生として教壇に立ちながら博士号を取得し、今に至っています。

4. 教員となって学生を育てること（苦労したこと）

自分が理解しているつもりでも、他人に物事を教えることって、できるとは限らないんですよ。教員です。「教える」という立

右上に続く

場ですが、上から目線ではなく「自分も学ぶ」という姿勢が大切だと考えています。技術は日進月歩ですので、学会等へ出向いて他大学等の先生方の研究を拝見し、さらに学会の委員として活動する中で最新の知見を入手し、学生へフィードバックすることが重要です。現代は、各学生の個性に合わせた指導が求められており、私たち教員も各学生の良いところを見つけて伸ばす方法を模索し続けています。学校という空間に在るだけでは、井の中の蛙になってしまっていますので、コンテストや学会等の校外活動に目を向けて自己研鑽を図ることが教員としての務めだと思います。学生を育てることは、自己研鑽は当然のこと、学生が教員を信頼してくれないと成り立ちませんので、私達教員は学生に寄り添って学生を理解し、周囲や家庭の協力を得ることで成し遂げられると思います。まさにドン・ボスコのアシスタントです。とはいえ、なかなか話が通じなかったり、文章を読んでもくねくねだったり・・・苦労が多いのも確かですが、学生達が就職・進学して、良い仕事をしている報告を聞くのは教員冥利につきますね。

電気設備学会誌



特集に当たって

米盛 弘信

特集 工業系スタートアップ時代の課題

近年のスタートアップ企業は、従来の大企業とは異なり、高度な技術力と革新的なアイデアを駆使して市場に参入し、迅速な成長を遂げる傾向がある。一方で、スタートアップ企業は、資金調達や人材確保、市場開拓など、様々な課題に直面している。本特集では、スタートアップ企業が直面している課題を、電気設備学会誌の読者に伝えるべく、米盛弘信氏が執筆した。米盛氏は、スタートアップ企業の経営者として、スタートアップ企業の成長を支えるために、電気設備学会誌の読者に伝えるべきメッセージを、本特集を通じて発信している。

編集注）米盛准教授が投稿される学会誌と特集主幹の記事

出典：米盛弘信：“特集に当たって”，電気設備学会誌，42巻8号，p.500（2022-08）

5. これからを思っって・・・（どういう時代にどんな人が）

国内外を問わず激動の時代ですので、様々な変化に対応できる人材が必要です。例えば、パソコンが普及する前はすべて手書きレポートでしたが、今ではパソコンでレポートを書くことや表計算ソフト、スライド作成ソフトを使いこなす能力が求められます。

さらに、新型コロナウイルス感染症による社会変化としては、オンライン授業やオンライン発表が行われました。海外の方との交流も増えています。つまり、自分で情報を収集・整理して環境に適応していく能力や他者を受け入れると共に自己の意見を発信する能力が必要です。そのための努力を継続できる人材が求められていると思います。また、暗記に頼るのではなく、工夫して目的を成し遂げる力も必要です。

このような人材を育成できるように、私たちもあの手この手で頑張っていかなければなりません！

学生活動等支援補助金プレゼンテーション

10月16日、2021年度の学生活動等支援補助金のプレゼンテーションがZoomによって開催されました。今回は3件のプロジェクトからの申請があり、資料を展開しながらプレゼンテーションを行いました。

学生フォーミュラプロジェクト

学生フォーミュラプロジェクトは2021年度新設の学科プロジェクトで、学生フォーミュラ日本大会に出場し完走を目的とした活動です。学生活動等支援補助金は溶接に関する活動に使用されます。



Summary!

プレゼンテーションはどのプロジェクトも熱心な活動報告の内容でした。今回申請されたプロジェクトは3件すべて承認され、補助金を交付しました。今後、更に充実した活動を期待しています。

ソーラーSLプロジェクト

問題点を解消するため、モータを付け替えてトルクの向上を図ります。また、子どもへの安全対策と配慮としてのカラーコーンの設置、バックモニターの取り付けを行います。



非接触制御技術の研究開発

プレゼンでは人の足を検出しながら、足の動きに合わせて画像が動く様子が動画で伝えられました。今後は非接触技術を活かした誰でも気軽に体験できる展示を検討中とのことで、とても楽しみです。



育英祭 学科日

2021年10月23日に育英祭が行われました。コロナ対策により保護者は入場できませんでしたが、父母会では、フェスティバルパーティー企画として、フォトスボットを設置しました。たくさんの方の学生のみなさんが訪れてくださいました。

24日の学科日は、各学科で指定された活動が行われました。その様子を一部取材させていただきました。各学年ごと集中して発表が実施され、とても活気のある一日でした。



撮影した写真はその場でプレゼントしました。



ベルマーク活動について Activity introduction

本校の父母会のベルマーク活動は、使用済みインクカートリッジとトナーカートリッジに限定して回収を行っています。インクカートリッジはCANON・brother・EPSON製の純製品が対象となります。回収箱は校舎棟2階の出入口横にあります。



父母懇パーティーでは、11月6日にベルマーク作業をしました。2020年度は活動できなかったため、2年分の大量のインクとトナーの仕分け作業を行いました。

～今回のベルマークの回収報告～

- インクは1個5点、トナーは1個50点のポイント
- ・エプソン4,295点（インク549個、トナー31個）
- ・キャノン6,785点（インク987個、トナー37個）
- ・ブラザー1,720点（インク104個、トナー24個）

合計12,800円分の点数が集まりました。

2016年に263,115円分の券売機を学校に現物寄付しました。今回の集計分を合わせた現在のベルマーク預金残高は37,931円です。

ベルマーク預金が増えたら、学生に有効活用してもらえような物品を購入し、学校に寄付したいと思います。今後とも皆様のご理解とご協力をお願いします。



保護者向けキャリアデー（講演会）

例年はバス旅行などを企画していたレクリエーションパーティーですが、2021年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のために、初企画となる講演会「保護者向けキャリアデー」を11月27日にオンライン開催しました。Zoomによる配信で、191名の方より参加申込みをいただきました。



第1部は「サレジオ工業高等学校におけるキャリア支援」と題し、キャリアセンター長石川真由美氏に現在の企業の求人に対する考え方や傾向、現在の高専生の特徴などについてお話をいただきました。第2部は学科ごとに分かれ、それぞれの学科を卒業した方々にご自身の経験を踏まえた貴重なお話を伺うことができました。在学中に心がけておいた方がよいことや社会に出てからの考え方なども大変参考になるものでした。

卒業後の就職は保護者のみなさまにとっても大きな関心事の一つです。普段は4年生に行っているキャリアデーですが、保護者向けのキャリアデーは大変好評でした。

SHIN SHAONKAI

2022年3月18日、父母会による「あたらしい謝恩会」が開催されました。



CD:ハヤシカイト (OB)
D:高橋功武 (OB)



パラダイムシフトが進む中、従来の謝恩会とは異なる形での開催となりました。担当委員・役員だけでなく、教職員の皆さん、卒業生の方々など多くの人々のご協力のもと、サレジオ高専最後の思い出作りにふさわしい会となりました。終了後のアンケートでは、学生の皆さんの感謝の言葉やご参加くださった教職員の方々のあたたかい感想や御礼の言葉をいただきました。

FUBOKAI

～2022年度 父母会役員・各パーティー紹介～



父母会
役員



父母懇
パーティー



レクリエーション
パーティー



フェスティバル
パーティー



卒業対策
パーティー



広報
パーティー

Loving Kindness Human Technology Living Truth



高専News編集部では
皆様からの情報をご要望をお伺いしております。

ご自身の近況・ご学友の近況などの情報のご提供や、より詳しく知りたい本校の活動内容などがございましたら
お気軽に下記担当者までお問い合わせください。

企画広報課
星野 正登
【 hoshino@salesio-sp.ac.jp 】 or 【 070 - 2196 - 5135 】

なお、本校に來校をご予定の方は、公共交通機関をご利用の上、
お気をつけてお越しください。

